

あすから平城宮天平祭

AR歴史クイズラリー

奈良女子高校（奈良市三条宮前町3）のアニメーション部の生徒が、あすあさつて21、22日に開かれる秋の平城宮天平祭「みつぎまつし祭り」（平城宮跡にぎわいづくり実行委員会主催）で公園内を巡る「AR歴史クイズラリー」に登場する天平人のキャラクターをデザインした。

AR（拡張現実）はスマートフォンなどで現実世界とキャラクターなどを重ねて楽しめる技術。部員たちが授業で地域の祭りを盛り上げるためのアニメーション動画を作成したことがきっかけで、同祭りでARを担当する企業が「祭りを若い世代にも楽しんでもらいたい」と、若者を引きつけるキャラクターデザインの作成を依頼した。

主に開発に携わった同部2年生の6人は、奈良の考古学歴史研究資料に基づいて作ることに決め、夏休みには平城宮跡資料館へ行き、天平衣裳を学んでアイデアを膨らませた。同資料館担当者が監修し、生徒たちは夏休みや放課後の時間に何度も改良して完成させた。

奈良女子高アニメ部生徒がデザイン

天平人のキャラ制作



来上がったアプリのPR方法を考える奈良女子校アニメーション部の生徒たち＝17日、奈良市三条宮前町3

生徒たちがデザインしたキャラクター（奈良女子高校提供）



見て成長を感じた」と話し、部員の高崎心愛さん（17）は「クイズや写真を通してキャラクターを好きになってもらえたら」とPRする。

当日は、アプリ「COCOA」をスマートフォンでダウンロードし、公園内に設置された5カ所のポイントでクイズに答えると景品がもらえる。キャラクターと一緒の写真が撮れる「AR麒麟（きりん）をイメージフォトフレーム」も使用して作られたかわいらしい景品。実施時間午前10時～午後4時。問い合わせは同実行委員会事務局、電話0742（25）0707。

四神と麒麟イメージ